Z-138

305516

□要

□明

Z-138□、当初□慢性リンパ性白血病（CLL）として発症し、後に侵攻性のB細胞白血病へと転化した患者から樹立されたヒトマントル細胞リンパ腫（ MCL）細胞株である。 Z-138細胞□成熟B細胞の表現型を示し、CD19、CD20、および表面免疫グロブリンなどのマーカーを発現する一方で、マントル細胞リンパ腫の特徴である CD5陽性性も維持している。これらの細胞□、特にBCL-2阻害を背景とした治療薬に対する反応について、広範に研究されてきた。 研究により、Z-138細胞□、ミトコンドリア経路の活性化を通じてアポトーシスを誘導する選択的BCL-2阻害剤であるベネトクラックスに感受性があることが示されている。 しかし、PI3K/AKT経路のアップレギュレーションなど、ベネトクラックスに対する耐性のメカニズムが同定されており、 BCL-2およびPI3K/AKTシグナル伝達を両方標的とする併用療法の可能性が浮き彫りになっている。
Z-138細胞□、インターロイキン-21（IL-21）によるアポトーシスなど、サイトカインを介した細胞傷害性を調べる研究に利用されてきた。 一部のMCL細胞株□IL-21治療に反応するが、Z-138□耐性を示しており、これ□アポトーシスシグナル伝達経路における固有の差異によるものと考えられる。この耐性パターン □、MCLの異質性に関する知見を提供するとともに、個別化治療アプローチの必要性を強調している。 Z-138□、MCLの病態解明や新規治療戦略の検証を行うための重要な前臨床モデルとして機能している。

ティッシュ	骨髄
病気	マントル細胞リンパ腫

用途

免疫学

同義語

- Z138

分類

生物	人間
セックス	男性
成長特性	サスペンション
バイオセーフティレベル	1

特徴

形態学	リンパ芽球
細胞の種類	リンパ芽球
倍増時間	24時間

識別子

引用

Z-138（Cytion カタログ番号 305516）

NCBI 納税者番号	9606
セロサウルス	CVCL_B077

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

発現と感受性

抗原発現

CD3-´CD5-´CD10-´CD19+´CD20+´CD23+´FMC7-

変異プロファイル

変異：TRAF2、単純変異、p.Trp114Ter (c.341G>A)、未特定

取り扱いと飼育

培養雰囲気	37℃´5%CO2、加湿雰囲気。

継代培養

培地を定期的に追加または交換して培養を維持する。培養開始時の細胞密度は5×10^{5}細胞/mlとし、最適な増殖のため細胞濃度を3×10^5～1×10^{6}細胞/mlの範囲に保つ。

流体の更新	週2～3回

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 300 x g for 3 minutes to separate the cells and carefully discard the supernatant containing residual freezing medium.
Gently resuspend the cell pellet in 10 ml of fresh culture medium. For adherent cells, divide the suspension between two T25 culture flasks; for suspension cultures, transfer all the medium into one T25 flask to promote effective cell interaction and growth.
Adhere to established subculture protocols for continued growth and maintenance of the cell line, ensuring reliable experimental outcomes.

品質管理と凍結保存

無菌性

マイコプラズマ汚染´PCRベースのアッセイと発光ベースのマイコプラズマ検出法の両方を用いて除外される。
細菌、真菌、酵母のコンタミネーションがないことを確認するため、細胞培養物毎日目視検査が行われる。

凍結培地	凍結保存培地として、融解後の生存率を十分に高めるために完全増殖培地（FBSを含む）＋10%DMSO、また回復を促進し凍結によるストレスを軽減するために最適化された浸透保護剤と代謝安定剤を含むCM-1（Cytionカタログ番号800100）を使用している。

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150～-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

配送条件

凍結保存された細胞株、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

寄付者

ドナーの年齢	70年
民族	白人

法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣　□不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中また□液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中に □、フェイスマスクまた □安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これ □、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

保証

サイシオン□、製品の品質と生存率を保証します。
当社で□、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、細胞が生存可能であることを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／また□製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。
詳細について□ ′ <a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

物質移転契約書の締結が必要	Yes

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB